

木材の新たな可能性 ～木の力再発見～ 住友林業株式会社

住友林業(株)木化営業部営業チーフマネジャー 東原氏

(1) 「木化宣言」

- ・この20年くらいで、日本人は特に都会において急速に「木離れ」し、その魅力や価値をあまり感じなくなってきました。住まいにおいても和室離れが進んでいます。
- ・日本は森林が国土面積の約7割を占める世界有数の森林大国であり、人々は建築材や紙パルプとしての活用はもちろん、水源の涵養(かんよう)や土砂災害の防止など、森林からさまざまな恩恵を受けてきました。木の魅力を日本人が再発見できれば、日本の地方に眠っているポテンシャルを呼び起こし、地方創成になると弊社は考えています。日本の底力は、森林大国日本が有する「木」という資源を活かすことと考えています。
- ・弊社は、今年で創業325年となりますが、北海道、本州、四国、九州の4ヵ所で、総面積約46,443ヘクタールの森林を保有管理しており、これは日本国土の約900分の1に相当します。他にも海外で約20万haの森林を保有管理しています。木造住宅事業と、木造建材の流通及び製造事業、木質バイオマス発電事業に携わっています。
- ・弊社では、木造化・木質化を総称して、「木化」という言葉を用い、改めて木の良さ、価値を共有する「木化宣言」をテーマに、MOCCAの愛称で活動を展開しています。
- ・「木化」とは、もともとは生物学的な技術用語で、植物の細胞壁にリグニンが沈着して、組織が堅くなることを指していましたが、弊社ではそれに木造化・木質化を推進するという広い意味でこの言葉を定義づけ、改めて木の良さと価値を共有し、広めていくことを意味するものとなりました。

(2) 木の効果を再発見

- ・木目は目に優しく、木質感で快適性向上、香りでリラックス、ダニ防除、触感が脳を活性化、木そのものの調湿作用などの良い効果があると言われており、弊社の筑波研究所においてその科学的実証の研究を進めています。全部を木にすると、気分が落ち着かない環境になるが、45%くらいを木にすると最も快適な環境になるといった研究成果が出ています。人間も生き物であり、接するところに生物テクスチャをおくと心が安らぎます。衣服はナイロンよりも絹や木綿の方が心地よいのも同じ理由だと思えます。東日本大震災の復興について後ほどお話しますが、コミュニティ復興住宅において、デッキに木が使われているような事例があります。
- ・弊社では、顧客の満足度向上のために、徹底的な木のご要望対応を進めていますが、それは木の「よく眠れる、調湿作用がある、リラックスする、目に優しい」といったメリットを生かしながら、木のデメリットとされている「汚れる 反る 割れる 水に弱い 火に弱い 虫(シロアリなど)に弱い 耐久性がない 地震に弱い」といった点を克服することです。例えば、塗装の最新技術により「調湿作用」というメリットは封印されますが、「汚れる」というデメリットは克服されます。熱処理や薬品注入も、香りや色のメリットは封印されますが、寸法安定や防火・防腐といったデメリット克服が得られます。
- ・印刷や塗装技術の技術革新で、本物と見わけのつかない「木調」の製品が出てきました。木目シートフローリングといったものです。つまり似せ物ですが、適材適所に、本物の木を使っただけであればと思います。

(3) 東北復興支援における木の力を再発見

・こちらは、岩手県陸前高田市の復興支援において、木でカフェをつくって欲しいとの依頼をいただき、流通材をつかって提供させていただいた「りくカフェ」です。NPO 法人が運営していますが、ここを起点にした様々な取組みが展開しています。



(C) 2016 SUMITOMO FORESTRY CO., LTD ALL RIGHTS RESERVED, **MOCCA**

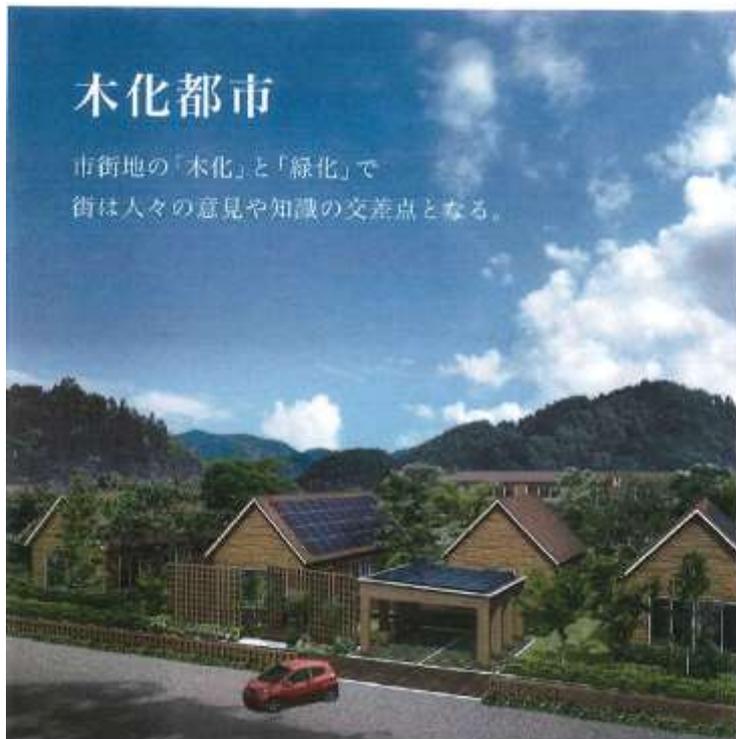


(C) 2016 SUMITOMO FORESTRY CO., LTD ALL RIGHTS RESERVED, **MOCCA**

- ・弊社は2012年に宮城県東松島市と街づくりの連携協定を結び、森のぬくもりと共生をめざし、循環型社会を実現する木化都市構想を市に提案しております。林業や各種公共施設の木化推進、木質バイオマス発電など、「木化都市」実現への取り組みをサポートしております。



(C) 2016 SUMITOMO FORESTRY CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED, **MOCCA**



木化都市

市街地の「木化」と「緑化」で
街は人々の意見や知識の交差点となる。

森のぬくもりと
共生をめざし、
循環型社会を実現する
木化都市構想。

震災の惨状から強く学んだエネルギー自給の大切さ、東松島市では市内の森、風、太陽を「地域資源」として活用し、自然の恵みに通った安全で安心なまちづくりを目指しています。今後、「新しい産業興達の機軸」によるグリーンで持続可能な地域経済基盤の構築が進んでいきます。例えば「バイオマス発電事業」では、これまで商業されてきた薪・葉が燃料としてリサイクルされ、被災者や職員の雇用創出に繋がります。「新しい保険の形」その実現に向けた準備が、「今」着々と進んでいます。



(C) 2016 SUMITOMO FORESTRY CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED, **MOCCA**

・弊社が木の力として着目しているものが、木の経年美化です。他の素材では経年で劣化します。京都の銀閣寺のように、時と共に美しい色合いになることを、弊社では「櫛美色（ときみいろ）」と呼んでいます。



櫛
美
色
い
い
と
き
み
い
ろ



(C) 2016 SUMITOMO FORESTRY CO., LTD ALL RIGHTS RESERVED, **MOCCA**



MOCCA HUT
北原ライフサポートクリ
ニック東松島



(C) 2016 SUMITOMO FORESTRY CO., LTD ALL RIGHTS RESERVED, **MOCCA**

(4) 感じる環境「感境」のすすめ

- ・弊社では、ただ木材を使う人がそこで何を感じるかを大切にしています。本能で感じるものとして「心地よさ」、感覚で感じるものとして「やすらぎ」、印象で感じるものとして「本質」、身体が感じるものとして「健康」があると思います。
- ・樹の緑や、孫にギターを弾いてあげることといった、人が自然素材から感じることは、世代を超えて共感でき、共感できる喜びが人の心を豊かにすると弊社では考えています。

(5) 木化実例紹介

- ・こちらはベネッセ様が運営しておられます、木造の介護付有料老人ホーム「グランダ多摩川」です。耐火構造とするために耐火ボードを貼っており、外側からは木が見せられないのですが、中に入っただけだと、木の香りと温かみのあるホームにデザインしています。
- ・認知症高齢者も、和室は認識しやすく、気持ちが落ち着きやすいとのことでした。
- ・サ高住についても、木を使って付加価値を上げることが可能だと思います。内部を見て、木による居心地の良さを体験していただくことが、サ高住居住を決めることにつながると思います。
- ・弊社では良質の木材をつかった介護付有料老人ホームの事業展開を行っております。木が入居者様だけではなく、スタッフにも優しいということについて、住友林業の筑波研究所でエビデンスを集めています。木が社会に貢献できることは大きいと、弊社は考えています。

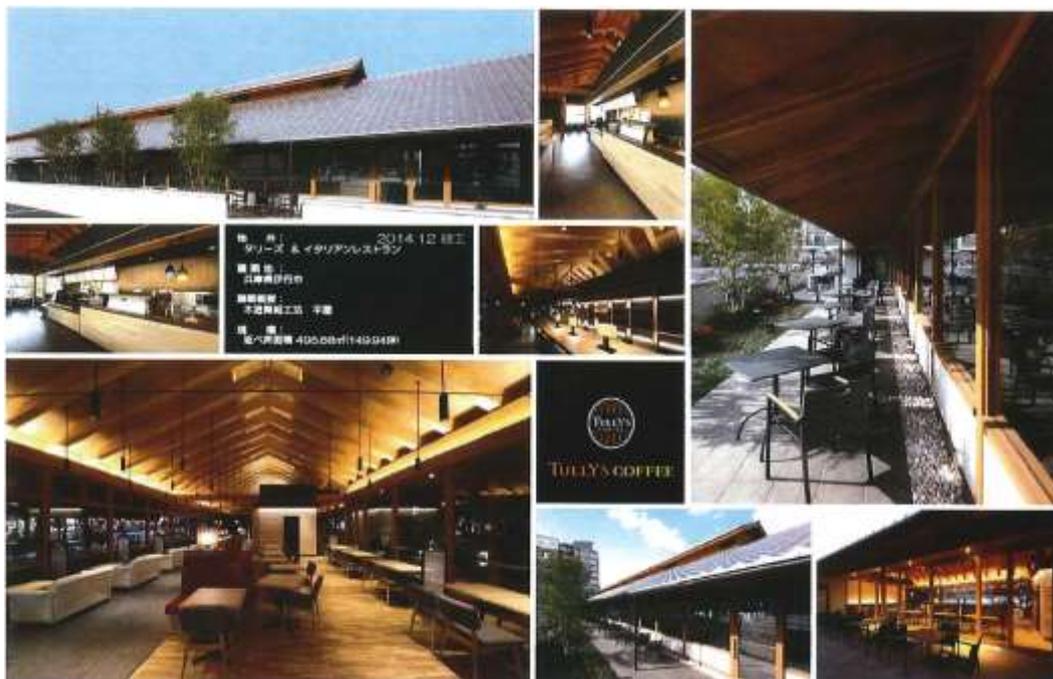


・こちらは東京都目白の椿山荘のとなりに建設したカフェです。東京の人は、大阪の人から見ても歩く速度が速く、急ぎ過ぎると言われており、癒しの空間が求められています。木の香りにつつまれた、ほっとする空間でストレス解消ができればと思います。保育園においても、木のやすらぎと温かみのある空間とする、園児が昼寝の時間にぐっすり眠るようになるとのことです。



(C) 2016 SUMITOMO FORESTRY CO., LTD ALL RIGHTS RESERVED, **MOCCA**

・こちらは伊丹市の、ターリーズ&イタリアンレストランです。



(C) 2016 SUMITOMO FORESTRY CO., LTD ALL RIGHTS RESERVED, **MOCCA**

- ・木材は濡らさないようにしなくてはいけないなど、メンテナンスが必要になるところもありますが、木の優れたところ（付加価値）を併せてメンテナンスのご説明をすれば、お客様は理解していただけるようです。
- ・住宅会社の皆様にも、是非、少しでも木の利用をお薦めいただきたいと考えています。

以 上